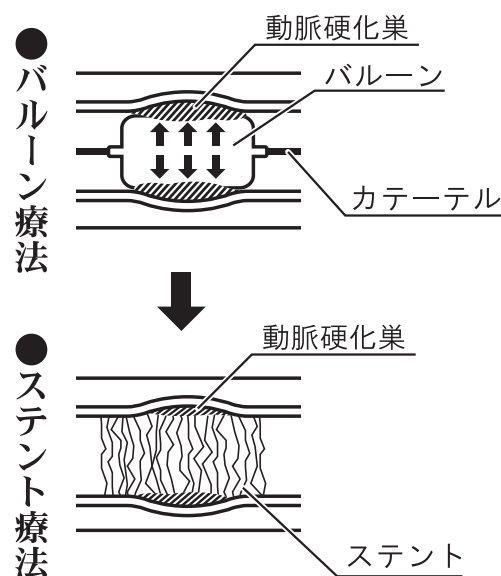


ステントと抗血小板剤

ステントって何？

狭心症や心筋梗塞の患者さんにはステントを使用したカテーテル治療が行われます。ステントは金属で出来た網目状の筒のような形の医療器具で、冠動脈(心臓のまわりを走る血管)の狭窄部位をバルーンで広げたところに留置することで、それ以上血管が細くならないよう血管を支えます。



抗血小板剤って何？

ステントを血管内に留置した人は、少量のアスピリンとチクロピジンという成分の抗血小板剤を必ず服用します。留置したばかりのステントは、血管内でむきだしになっています。ここに血栓が付着すると、再び血管が詰まることがあります。抗血小板剤は、留置したステントに血栓が付着して血管が再び狭窄するのを防ぎます。

抗血小板剤を服用する期間は？

ステントにはいくつか種類があります。ステントの種類によって服用しなければならない期間が異なりますが、通常のステントは最低1ヶ月、近年発売された金属のまわりに薬剤を塗布したステントは種類によって最低3~6ヶ月服用しなければなりません。これは、ステントが血管の内膜に埋まるまでの期間になります。



抗血小板剤を服用するときの注意点は？

★ スtent内の再狭窄を防ぐためにも忘れず服用することが大切です。

★ 抗血小板剤を服用していると、普通の人よりも血がとまりにくくなります。他の医師の治療を受ける際には、抗血小板剤を服用していることを知らせましょう。

★ アスピリンは消化性潰瘍を起こすことがあります。胃腸薬が同時に処方されることが多いですが、胃腸に負担をかけないためにも、空腹時に服用するのは避けましょう。

★ チクロピジンというくすりはまれに肝機能障害、顆粒減少症（白血球の一部が減る）、血栓性血小板減少性紫斑病という副作用が起こることがあります。この副作用は、のみはじめての2ヶ月間に起こりやすいので、副作用の早期発見のためにも初めの2ヶ月間は2週間毎に血液検査を受けてください。まただるい、食欲がない、発熱、風邪様症状、体に紫斑ができるなどの症状に気づいたら早めに受診してください。

